



どうやってアルバム作りをするの？その②

表紙の作り方

子どもの描いた絵が表紙になる♪



紙で作る

表紙用画用紙は、縦長の状態でご使用ください。

※表紙用画用紙はご注文時にご希望いただいた方にお送りしております。

原稿のサイズ

オモテ表紙・ウラ表紙とそれぞれ縦323mm×横238mmで制作してください。

※A3やB4など別のサイズでは制作しないでください。

背文字をご希望の場合は、弊社にて打ち込みますのでご入稿の際にメールでお知らせください。
※黒文字・丸ゴシックのみとなります。
※ライトタイプには背文字は入りません。

スタンダードタイプ
プレミアムタイプ
フォトタイプ
表紙イメージ



ライトタイプ
表紙イメージ

背景は用紙の端まで入れて、
周囲を白く残さないでください。

切り貼りをした部分はスキャン時に
影が入ります。

仕上がり位置から見えてしまうため
目元の線は、書かないでください。

端10mmは折り込まれますので
切れてはいけない絵・文字・写真は、
余裕を持って端20mmには
入れないでください。



動画でもぜひご覧ください。



悪い例



良い例

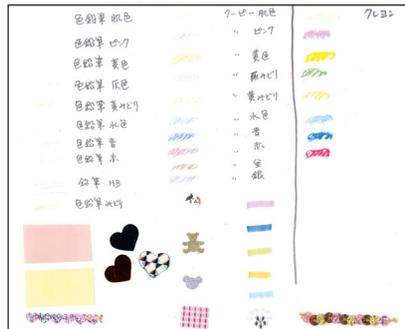
切り貼り作成の注意点

金や銀などのキラキラシールは、スキャンすると黒くなってしまいますので、
ご使用にならないで下さい。色鉛筆などの淡い色は機械が読み取れず白く
なります。また、蛍光ペンや光る素材は大幅に変色する場合がございます。

肉眼で見たもの



スキャンしたデータ



GOOD
● マーカー
● サインペン
● 写真

OK
△ クレヨン (擦れが目立ちます)
△ 絵の具 (波打ち影になります)

NG
✗ 色鉛筆
✗ 薄く細い描画
✗ 蛍光ペン
✗ 折った折り紙

汚れ・折れ・画用紙の波打ちがないように
発色の良い画材ではっきりお描きいただければ
綺麗に仕上がります。

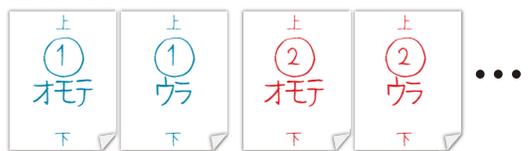


※ご入稿原稿によって仕上がりは異なります。

表紙の指示

それぞれ裏面に通し番号・オモテウラ・上下の
ご指示をご記入ください。
※表側に影響しないよう、鉛筆などで薄めに
お入れください。

全冊個別表紙



一部複数冊がある場合



オモテ表紙のみ共通





本文の作り方

紙で作る

発色に関しましては原稿と全く同じ色にはなりません。何卒ご了承ください。

紙原稿はスキャン代が発生いたします。1注文につき1〜20ページで税込4,000円

21ページ以上は10ページ増量ごとに+2,000円になります。

※表紙のスキャンは無料です。※A3は2ページとして計算いたします。

原稿のサイズ ※スタンダードタイプ・ライトタイプはサイズが異なります。

本文原稿はA3横(縦297mm×横420mm)の画用紙で制作してください。

ひと周り拡大いたしますので、背景以外の写真や文字は

点線より内側(端から約10mm)に配置してください。

※背景に色や柄を入れる場合は全面に使用してください
※比率が合いませんので表紙用の画用紙を本文に使わないでください。

鉛筆などで目安の線を書かないでください。

仕上がり位置ではないため印刷された線が見えてしまいます。

線を書いてしまった時は必ず消してください。

※弊社で消すことはできません。

点線位置からはみ出さないようにレイアウトをし、
周囲は白にせず必ず上下左右背景を残してください。

白く残すと下図のようになります。

だいたい
10mm



同じ紙を重ねても境界線が出ます

背景を残す

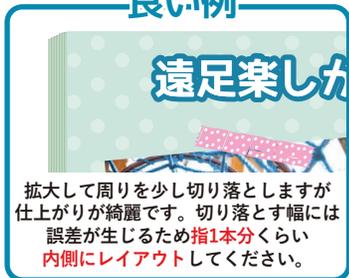
背景を残す

背景を残す

背景を残す

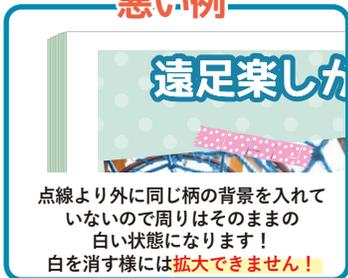
周囲は白くせず必ず柄を残してください。

良い例



拡大して周りを少し切り落としますが仕上がり綺麗です。切り落とす幅には誤差が生じるため指1本分くらい内側にレイアウトしてください。

悪い例



点線より外に同じ柄の背景を入れていないので周りはそのまの白い状態になります！白を消す様には拡大できません！

用意するもの (本文の台紙は弊社ではご用意しておりません)

■本文台紙■ (A3サイズの画用紙)

色画用紙や絵柄のある用紙を使用される場合は、色の濃い物をご使用ください。薄い色の場合、スキャンの際に色飛びして、真っ白に印刷される場合がございます。

手形・足形は拡大できないため、白い背景の台紙でご制作ください。コピー用紙のような薄い紙は、しわ・影が目立ちやすいため、少し厚みのある画用紙がおすすめです。

■写真■

ご家庭のプリンターで写真を印刷する場合は、写真に適した高品質な設定で印刷してください。

■ハサミやカッター■

写真の切り抜きなどに使用します。

■のりや両面テープ■

水のりは水分が多くシワになりやすいため、スティックのりがおすすめです。

■書き込み用のペン■

発色の良いものをご使用ください。薄い色、色鉛筆は見えなくなってしまう。※変色については7ページをご参照ください。

■飾り用のシールや色紙・マスキングテープ■

金や銀、ホログラムやスパンコールといった光る素材・蛍光色はスキャンすると印象が異なるものになりますのでご了承ください。※変色については7ページをご参照ください。

■原稿送付用の封筒やレターパック■

原稿が折らずに入る大きさの封筒や袋をご用意ください。※入稿方法については15ページをご参照ください。

作成手順

① ページの構成を考えます。

いきなり制作せず、いらぬ紙に簡単なページ割りやレイアウトをかくと、作業がしやすくなります。

② 台紙や道具などを準備します。(左記参照)

③ 切り貼りをして制作します。

上図を参考にして制作してください。綺麗に仕上げるために大切なことは原稿周囲の背景を残すことです。背景が広く残っていないとアルバムの端まで印刷が出来ず周りが白くなります。

写真のフチなしプリントと同じように、実際のサイズよりも大きく印刷することで仕上りの端まで印刷されます。

貼り付ける時は端までのりをつけ、引っ掛かりなどが出来ないようにしてください。

水分の多いのりを使用すると台紙が波打ってしまい、スキャンした際、全体に影が出てしまいます。弊社では消すことは出来ないため、出来るだけ原稿を平らな状態で制作すると仕上がりも綺麗です。

④ ご入稿の準備をします。

※入稿方法については15ページをご参照ください。



輸送中にはがれてしまう場合があります！